

報告回	#2政治センター幹事会 (1月度)	#3政治センター幹事会 (5月度)	#4政治センター幹事会 (8月度)
-----	----------------------	----------------------	----------------------

刈谷市	所属議員	伊藤幸弘、黒川智明、鈴木浩二、中嶋祥元、佐原充恭、深谷英貴
------------	------	-------------------------------

産業目線

目線区分	産業目線	
取り組み項目	③人材確保	
テーマ	外国人労働者の雇用支援	
前回まで 取り組み状況	・中小企業コンシェルジュによる、企業の課題提起や解決提案などの取組みを実施中。その継続性の重要性や各企業のレベルに則した提案等されているのか一般質問等で確認	
今回 組織内議員の 具体的取り組み	<p>※令和元年12月/3月定例会 一般質問 「中小企業支援について」を質疑</p> <p>① 中小企業の「人材育成」と「人手不足」への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性活躍推進を積極的に取組む事業者を認定する「ハーモニーカンパニー制度」を19年度に創設。 ・優れた技術や製品を手掛けている市内中小企業を「輝くかりやカンパニー」として19年度から産業まつりで紹介。 ・若年者の就職ミスマッチ対策として、生徒や親が直接、事業所と意見交換ができるよう校舎内での合同企業説明会を開催。 ・「人手不足」解消のための外国人人材受入れや育成方法、また、円滑な事業承継への具体的支援等は現在検討中。 <p>(追記) 中小企業コンシェルジュからの講習(人材不足、人材育成の実態事例)</p> <p>(例1) 納入単価が上らない中、量の確保で対応。ベトナム人実習生の採用増による労務費抑制 (課題) 個人スキル差による出来高のばらつきの縮小・解消</p> <p>(例2) ドライバー不足と高齢化対応のため、社内社員紹介制度。定着率も良い (課題) 社内表彰等によるモチベーションアップを促すこと</p> <p>※上記等を勘案しながら、中小企業支援制度への設計提案が重要</p> <p>② 中小企業の知的財産活用支援への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業が持つ優れた技術・ノウハウを活かす戦略として「刈谷市知的財産認定制度」の創設を提案。 ・県のスタートUP事業の中核拠点「ステーションAi」整備(2年後)に合わせ、刈谷市が県に認定した製品等をPRする仕組み構築を提案。 	<p>【図や活動の様子が分かる写真など】</p>   
今後の取り組み	<p>① 外国人労働者雇用については、企業へのヒアリングを実施中。また、愛知県と刈谷市に対して、今後の進め方など勉強会等を計画中</p> <p>② 新たな認定制度への取組みを提案した。引き続き実現の可否についてフォローアップしていく</p> <p>③ <u>（追記）来年度当初予算要望（7月22日 市長へ要望書提出）に海外研修生への日本語教育支援および中小企業の知的財産を支援する施策等を要望。</u></p>	

報告回	#2政治センター幹事会 (1月度)	#3政治センター幹事会 (5月度)	#4政治センター幹事会 (8月度)
-----	----------------------	----------------------	----------------------

刈谷市	所属議員	伊藤幸弘、黒川智明、鈴木浩二、中嶋祥元、佐原充恭、深谷英貴
------------	------	-------------------------------

組合員目線

目線区分	組合員目線	
取り組み項目	⑤子育て・教育	
テーマ	待機児童対策と祝日保育等の拡充	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">前回まで</div> 取り組み状況	一般質問等で ① 第二次子ども子育て支援計画策定に際して、待機ゼロを目指す実現性をしっかり示すことを依頼 ② 北部地区の祝日保育園の少なさを課題提起	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">今回</div> 組織内議員の 具体的取り組み	※令和元年9月定例会 一般質問 ① 0-2歳専用乳児園化(4園)への移行と幼稚園の幼児園化(こども園化8園)の運用開始における課題提起と対応状況の確認。送迎用駐車場の整備などの早期対応の依頼。兄弟別な園となるリスクの軽減と保護者への十分な説明を実施する事を強く要望 公立幼稚園全園の幼児園への移行、乳児園の拡大、民間保育園整備により保育ニーズを検証しながら、支援計画に織り込む。また必要に応じ中間改定をする ② 北部に祝日保育園は一園増設する方向で検討中・・・ (追記) 2園追加(含む新規1園)・・・中部1園、北部1園 ※令和元年12月定例会 一般質問 ① 子ども子育て支援計画について、パブリックコメントを実施している。 内容は、2025年度に待機ゼロを示しているが、ぎりぎりの状況と認識している乳児園と幼稚園の運用を拡大検討し、待機児童対策を早期化すべきではと提案。また、それぞれの園の魅力向上を図ることで、預ける側の魅力と選択肢を増やすべきであると提案 (追記) ・令和2年4月 新規保育園2園(定員180) ・令和3年4月予定 1園(定員90) ・子育て短期支援事業・・・保護者の疾病等、一時的保育困難児童のショートステイ 条件: 18歳未満の児童、7日以内(宿泊を伴う) 2歳未満児(0~5,350円/日)、2歳以上児(0~2,750円/日)	【図や活動の様子が分かる写真など】 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>※保育園 ? 一部を乳児園(0-2歳)化</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>※幼稚園 ? 幼児園(こども園)化</p> </div> </div>
今後の取り組み	・子ども子育て支援計画を基本に、園児数の増減、ニーズの確認など実施しながらフォローしていく ・(追記) <u>来年度当初予算要望(7月22日 市長へ要望書提出)に乳児園から幼児園への転園に対する課題解消および児童クラブの民間誘致等の施策を要望。</u>	